

特集3 こだいら生活相談支援センターと

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の活動

8月12日、こだいらセンターCSW(コミュニティソーシャルワーカー)^{うえはらあきこ}の上原哲子さんと北沢和也さんをお訪ねし、生活相談支援センターやCSWの活動についていろいろと興味深いお話をお伺いすることができました。今回はそのご報告です。

●こだいら生活相談支援センターとは

さまざまな事情によりお困りごとを抱えた市民の方を対象とした相談窓口です。

小平市福祉会館の4階にあり、活用できる制度や事業のご案内、関係機関へのご紹介等をいたします。

小平市から社会福祉協議会が事業受託し、運営しておりますので、相談は無料、秘密は守られますので安心してご相談ください。

(電話 042-349-0151)

●CSW・・・

コミュニティソーシャルワーカーとは

生活のことはもちろん、仕事や病気のこと、経済的なことなどあらゆる悩みや相談に対し、課題を整理しながら、いっしょに考え、現状を改善する方法や手段を相談者と共に見つけ、各種制度やハローワークなどの関係機関、地域の社会資源や活動を活用しながら、相談者の自立を応援する相談員です。

●小平市のCSW活動の特徴はどんなところにあるのでしょうか？

たとえば、就労支援に関しても、ひきこもりの方や心の病がある方で30代40代の方はいきなり就職活動をするのは難しいので、最初から就労を支援するのではなく社会参加を目指すところから始めます。一人ではどうしていいかわからないことを一緒にひも解いて地域に出られるようにする。そのために地域活動団体とリンクさせて社会参加ができるようなところに結び付けていく。そのような手法も小平の特徴の一つだと思います。

小平市ではインフォーマルな資源の活用の仕方が他よりもできる強みがあります。他区市町村は消費者センター、法テラス、学習支援等の制度と組み合わせて支援を完結させていく場合が多いのですが、小平ではCSWと一緒に活動することで制度だけでなく地域の資源も活かしながら支援することができます。それはCSWが普段からボランティアや市民活動、自治会など地域の活動に接点を持ち、活動



右・北沢和也さん
左・上原哲子さん

内容を理解して交流しているからこそ現実的に支援をつなぐことができるのです。

私たちは小平市の市民活動団体を信頼しているのでつなげられますが、その関係性がないところは制度を利用するしかありません。

ただ、制度によっては個人では利用できないものもあります。市民活動団体はそういう困っている人たちにも手を差し延べてくださいます。どうしたらその人の良さや力を発揮できるのだろうかと考えながら一人一人と伴走しています。

しかし、私たちは解決のための魔法の杖を持っているわけではありません。100人いれば100通りの困りごとがありますが、私たちがそれらすべての解決手段を知っているわけではなく、どこに行けばその人の力になってもらえようかということを知っているだけなのです。

生活相談支援センターには10名の職員がいて、そのうち5名がCSWです。このセンターの中にCSWがいるということが小平市の特徴であり、その中でCSWは外に出て何かあればすぐ足を運ぶということを特色としています。

●お二人からのメッセージ

生活相談支援センターやCSWがすべてを解決できるとは限りませんが、一緒に悩みながら解決策を探していくというお手伝いはできます。お困りごとがありましたらどうぞ何でもご相談ください。

(文責：高橋 功)